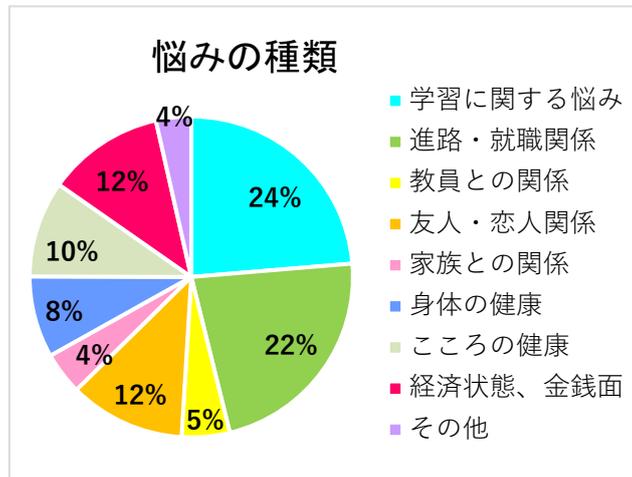


令和元年（2019年）11月21日

## 2019年度上半期実施の学生生活の調査結果について

### 【本件のポイント】

- 後期授業開始前に学生へアンケート調査を実施し、学生総数の15%から回答を得た
- 学生の悩みの有無、種類を主な内容としたアンケート調査で、今回で4回目の実施となる
- 相談したい内容を記入することができるため、大学からの問いかけに悩みを打ち明ける機会として一定の効果があった



### 【概要】

山形大学では、学生に対し、後期授業前のオリエンテーションにおいて、悩みの有無や種類等を主な内容とするアンケート調査を実施しました。これは、2018年1月から継続して実施しているアンケート調査で、今回が4回目の調査となります。今回の回答数は1,275で、学生総数の約15%から回答を得ました。

第2回目の調査から、相談したいことを記入できる欄を設け、大学から積極的に問いかけを行いました。そこへの記入で悩みを打ち明ける学生もあり、一定の効果もあったと考えられます。また、今回から新たに所属キャンパスを回答する項目を設けたことで、学生の要望や悩みにより対応しやすくなりました。

調査からは、“学年が上がるにつれて悩みを持つ学生が増加する”“学年によって悩みの種類が異なる”といった学生の悩みの傾向が明らかになり、これらの結果を教職員の研修や学生指導に生かしていくこととしています。

### 【第4回調査の概要】

調査対象：山形大学の学生（約8,800名）  
 調査期間：2019年9月25日から10月11日  
 調査方法：Webアンケート（任意回答）  
 回答数：1,275（学生総数の約15%）

### ※参考：過去の調査

調査対象：山形大学の学生  
 調査方法：Webアンケート（任意回答）  
 第2回より、成績表配付時にアンケートの協力依頼を行っている。

	第1回	第2回	第3回
調査期間	2018/1/10～1/31	2018/9/20～10/12	2019/4/3～4/19
回答数	104（学生総数の約1%） ※緊急実施。掲示でアンケートへの協力を呼びかけた。	1,553（学生総数の約17%）	717（学生総数の約8%） ※新1年生は対象外のため、回答数が低いと思われる。

お問い合わせ  
 教育・学生支援部学務課  
 TEL 023-628-4841 メール k-gakumu@km.jk.yamagata-u.ac.jp

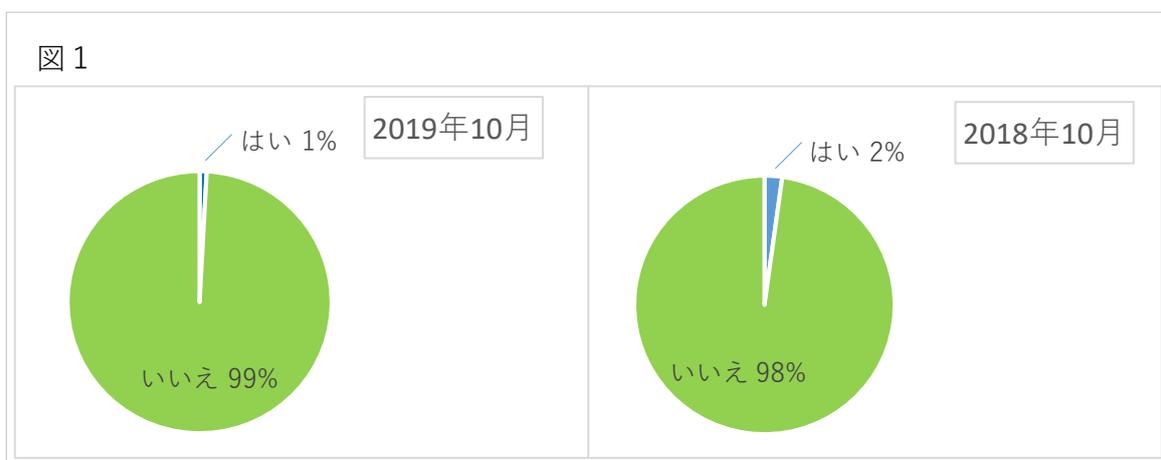
## 2019年10月実施の学生生活の調査結果

2017年度から開始し、2018年度からは回答率を上げるため学期始めの成績表配付時にアンケートの協力依頼を行っている。なお、2019年4月実施分では新1年生を対象外としたため、回答数が減少している。〈2019年10月の回答数:1,275、2019年4月:717、2018年10月:1,553、2018年1月:104〉

アンケートは、成績表配付時にアンケートのURL、QRコードを記載したチラシを配付し、学生の任意による回答とした。なお、認証ID等は用いていないため、重複・部外者入力が含まれる可能性は否定できない。(URLは非公開設定)

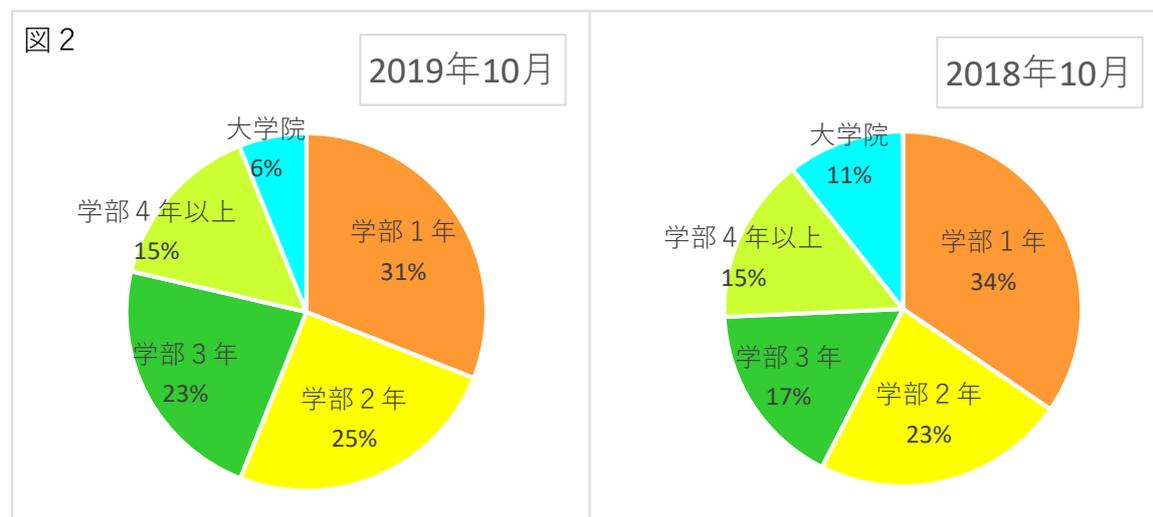
### 1. 相談等に関する大学からの連絡の希望について

・「現在悩みを抱えており、大学からの連絡を希望するか」という問いに対し、大学からの連絡を希望するという回答は11件であった(図1)。内容は、進路や単位、教員との関係等についてであった。大学側からの問い掛けにより悩みを打ち明ける学生もあり、一定の効果があると考えられる。

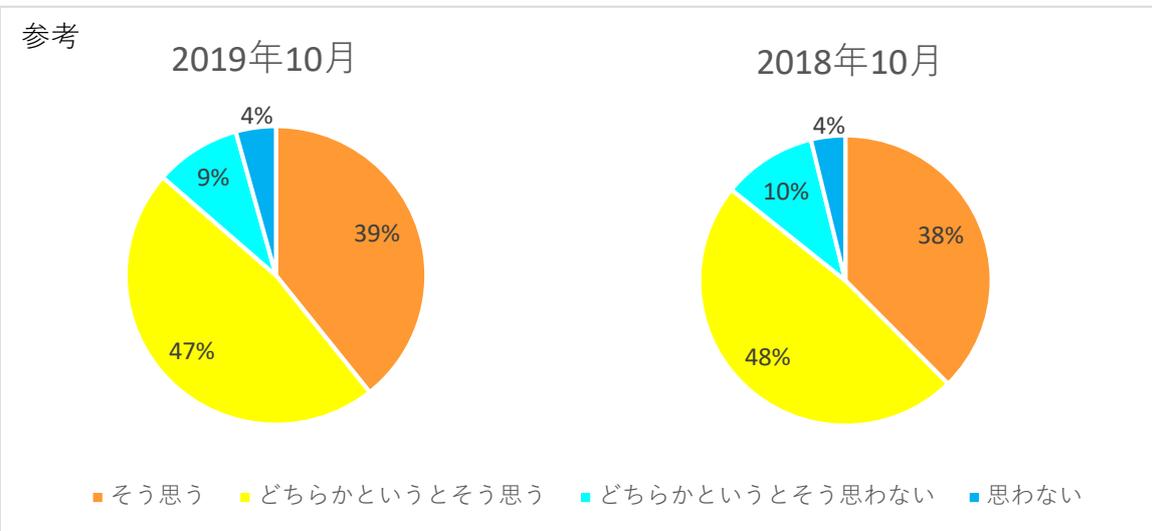
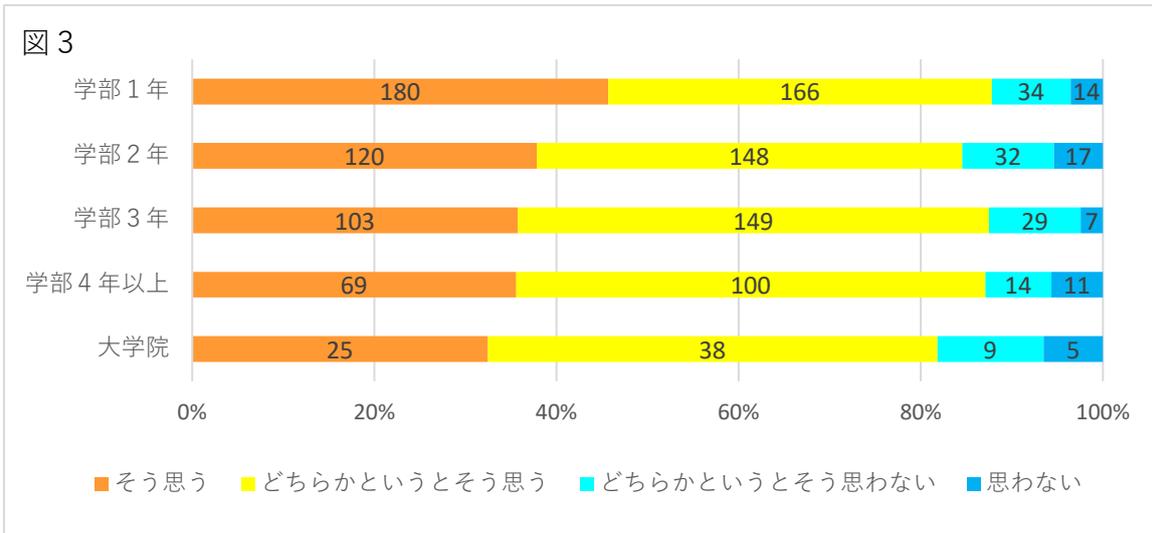


### 2. 回答者の学年について

※学部4年以上の学生数は留年者を含む。



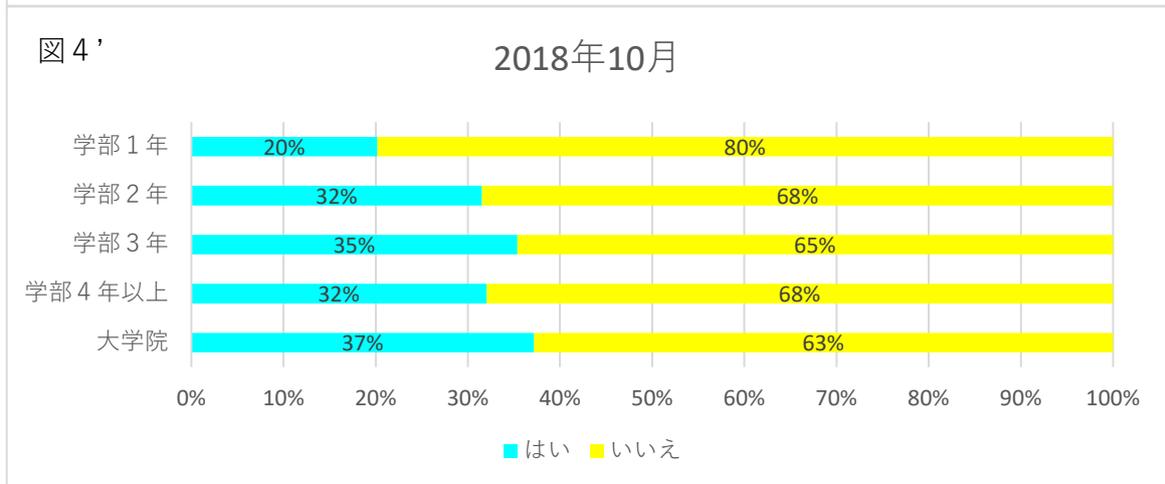
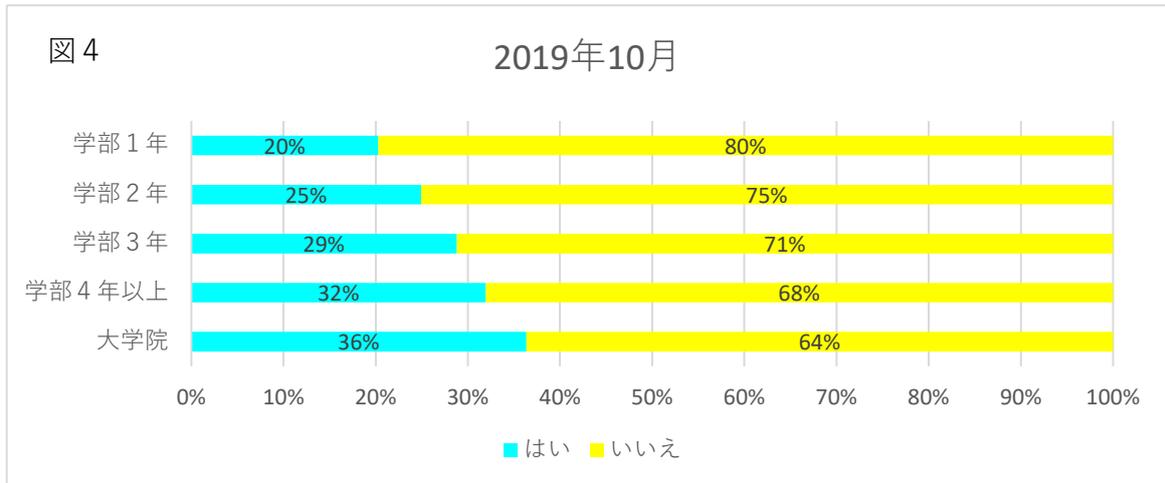
3. 大学生生活の充実（楽しい、有意義等）について  
 ・いずれの学年でも8割以上の学生が大学生生活は充実していると感じている（「そう思う」「どちらかというと思う」の割合）（図3）。



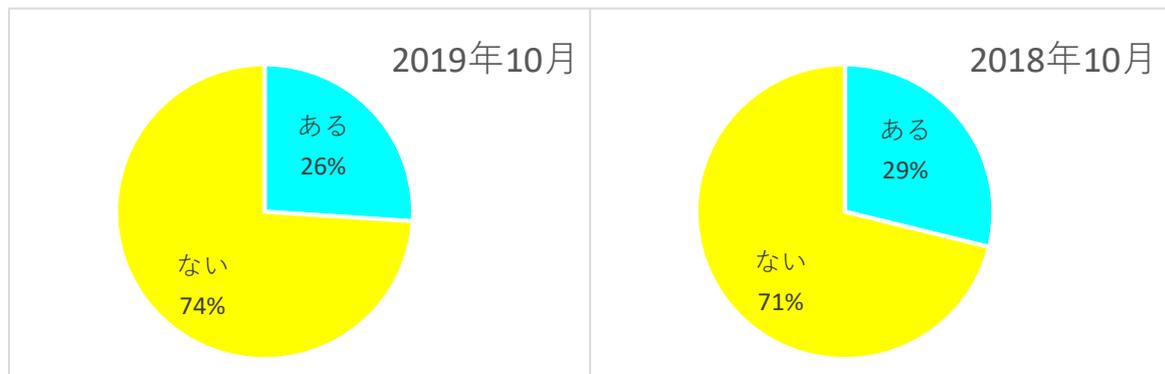
#### 4. 大学生生活の悩みについて

・前年の調査と比べ、学年が上がると悩みのある学生の割合が増加する傾向が見えた。

(図4)



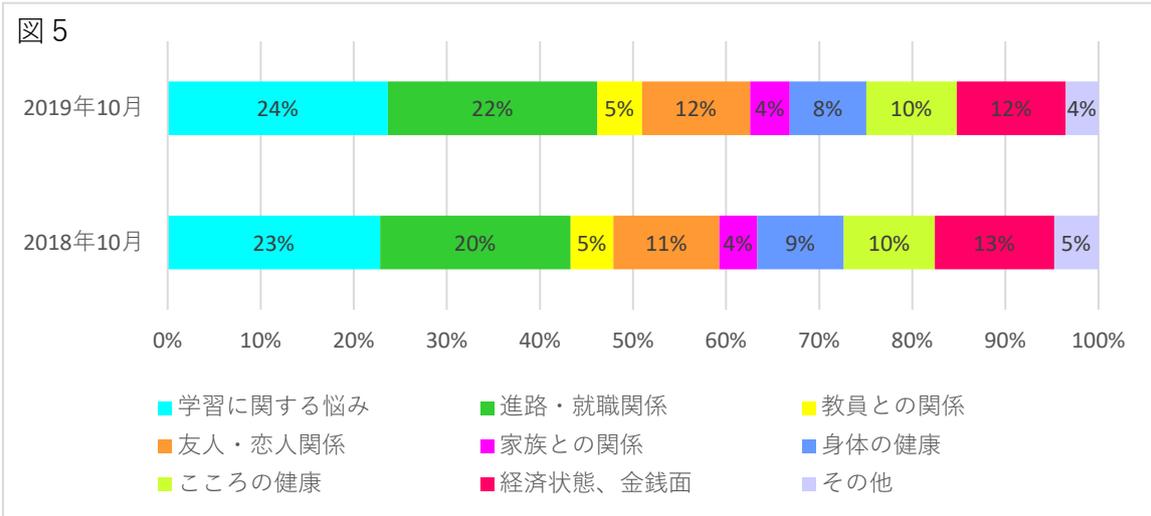
参考：悩みのある学生の割合（全体）



2018年・2019年の10月に調査した結果では、悩みのある学生の割合は大きく変わらない。

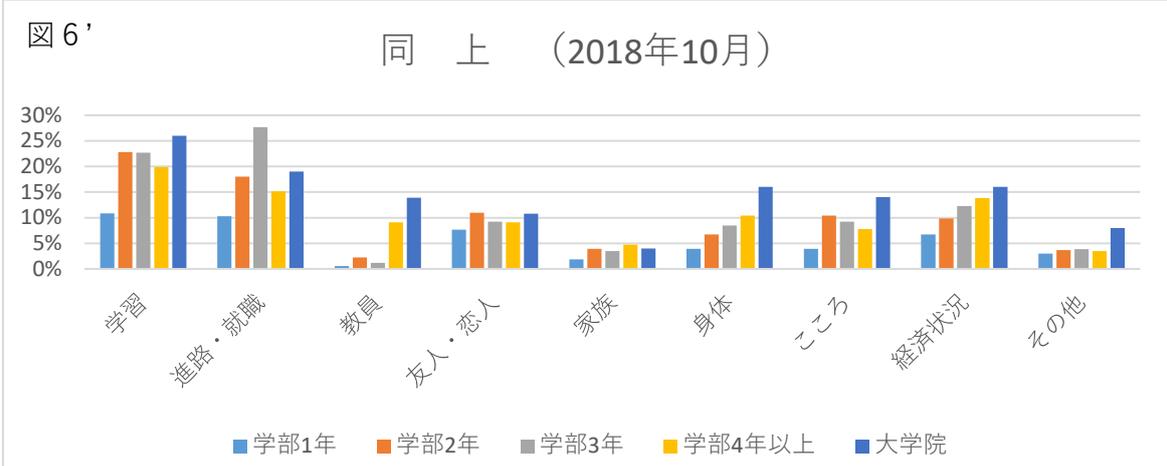
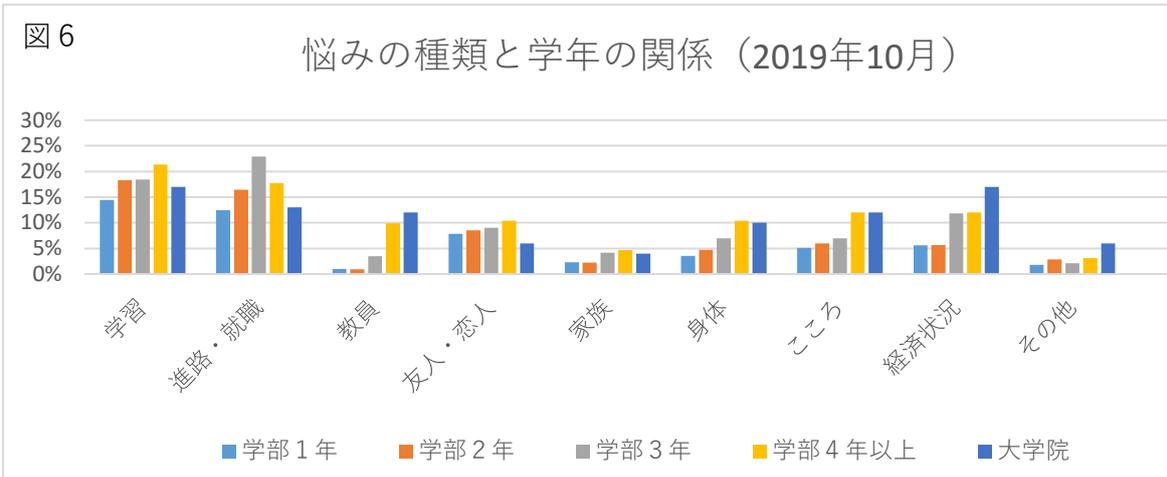
5. 悩みの種類について（複数可）

・「学習」「進路・就職」が多く、次いで「経済状況」の悩みが目立つ。（図5）



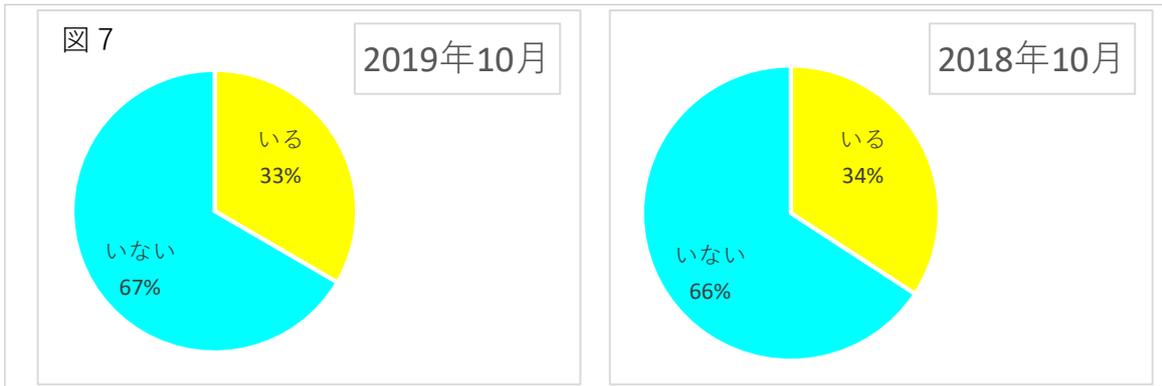
6. 悩みの種類と学年との関係について

・「学習」「進路・就職」の悩みは、いずれの学年でも多く見られる。「教員」「身体」「こころ」「経済状況」については、学年が上がるほど増加する傾向がある。（図6）



7. 悩みを打ち明けられる教職員がいる学生の割合について

・ 3割程度の学生は教職員へ相談ができることがわかる（図7）。



8. 教職員に相談できない学生の相談相手について（複数可）

・ 約8割の学生が「友人」「家族・親戚」に相談するが、5%の学生は「相談できる人がいない」と回答している（図8）。

